

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年7月31日～8月6日)

平成 26 年(2014 年)8 月 8 日

H E A D L I N E S

政治

ワルシャワ蜂起開始70周年を迎える
シコルスキ外相がノルウェーを訪問
ポーランド政府がシコルスキ外相を欧州委員候補に推薦

経済

ポーランド産牛肉の日本輸出が解禁
6月の輸出が前年同月比で9.4%増
7月のPMIIは49.4ポイント
倒産件数が引き続き減少
170万人がOFEへの拠出を選択
リース市場が前年比で拡大
家電リサイクルシステムが不正の温床となっている可能性
ポーランド企業の研究開発投資が増加
発電所における技術的な欠陥が顕在化
PGEが原子力発電所建設候補地のパブリック・アクセプタンスを獲得できる見込み

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
大使館広報文化センターの開館時間について
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先:大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出に

政	治
内	政

ワルシャワ蜂起開始70周年を迎える【1日】

1日、ポーランドはワルシャワ蜂起開始70周年を迎え、ワルシャワをはじめとするポーランド各地で記念行事が開催された。1日のワルシャワ蜂起開始時刻である17時には、ワルシャワ市内ポヴォンスキ軍事墓地にて記念式典が開催され、コモロフスキ大統領、トウスク首相等が出席した。なお、7月29日には、コモロフスキ大統領が訪独し、ベルリン市内で開催された「ワルシャワ蜂起1944」展の開会式にガウク独大統領と共に出席している。

外	政
---	---

シコルスキ外相がノルウェーを訪問【7月30日～31日】

7月30日～31日、シコルスキ外相がノルウェーを訪問し、ブレンデ外相との会談、現地のポーランド人労働者との面会、国防軍作戦本部視察等を行った。外相会談においては、二国間関係、対露関係及びウクライナ情勢を中心に意見交換が行われ、シコルスキ外相は北極の重要性が益々高まっているとの認識を示した。

ポーランド政府がシコルスキ外相を欧州委員候補に推薦【7月31日】

7月31日、ポーランド政府はユンカー欧州委員長に対し、ポーランドの欧州委員会副委員長兼EU外務安全保障政策上級代表ポストへの候補者としてシコルスキ外相を提案した。欧州委員会の新メンバーは8月30日に決定する予定。

経	済
---	---

経済・財政政策

ポーランド産牛肉の日本輸出が解禁【1日】

1日、山中駐ポーランド日本国大使とサビツキ農業・農村開発大臣は、両政府は牛肉及び牛肉製品の輸入条件について合意に達し、ポーランド産牛肉の日本輸出が解禁されたと発表。2001年に欧州で狂牛病が発見された以降、EU産牛肉の日本への輸出が禁じられていた。ポーランドはフランス、オランダ、アイルランドに続きEUで日本に牛肉を輸出できる4番目の国となった。

マクロ経済動向・統計

6月の輸出が前年同月比で9.4%増加【5日】

6月の輸出は、前年同月比9.4%増、前月比2.4%増となる139億ユーロであった。ズロチ建てでは、前年同月比5.6%増、前月比1.4%増となる577億9千万ズロチ。最近の輸出の増加傾向は季節要因にもよるが、2014年通年での予想値も前年比9.3%増となる1,705億ユーロ、あるいは同7.7%増となる7,048億ズロチとなっている。

7月のPMIは49.4ポイント【1日】

7月の購買担当者景況指数(PMI)は、6月の50.3ポイントより低下し49.4ポイントとなった。PMIが標準値の50ポイントを下回るのは2013年6月以来。最大の要因は新規受注が減少していることで、在庫調整も進んでいる。他方、雇用は12カ月連続で増加していることもあり、景気が悪化傾向にあると捉えない、との見方をする向きもある。

倒産件数が引き続き減少【4日】

7月の倒産件数は前年同月の98社より少ない76社であり、2,800人が解雇された。2014年1月～7月の倒産社数は計498社となり、前年の581社より大幅に減少している。

170万人がOFEへの拠出を選択【4日】

昨年末の公開年金基金(OFE)改革により、ポーランド国民は7月31日までに社会保険庁(ZUS)に拠出した社会保証費の一部を、引き続きOFEでの運用に回すか否かを選択しなければならなかったところ、最終的に169万153人がOFEでの運用を選択した。改革を開始した5月の時点では、1,669万7,221人が拠出金の一部をOFEで運用していた。

ポーランド産業動向

リース市場が前年比で拡大【1日】

今年1-6月期のリース企業の投資は約210億ズロチに上った。リース市場も前年比31.8%増と成長し。リース対象の大半は自動車や機械類となっている。ポーランド自動車レンタル・リース協会によれば、長期間の自動車レンタル市場は、上半期で前年比5.1%、下半期で同12%の成長が見込まれるとしている。

家電リサイクルシステムが不正の温床となっている可能性【1日】

環境省の発表によると、ポーランドの家電リサイクルの水準は、EUが2016年に達成を求める水準(前年に販売されたものの35%)に達したと発表した。一方、40%の廃家電が書面上の申告のみという指摘もある。製造事業者に義務づけられている製品リサイクル状況を監督するための組織が設立されているが、製造事業者との関係が不正の温

床となっているという。改正WEEE指令に基づき、加盟国は2014年2月までに同指令に基づく新しい規制を適用することが求められており、こうした問題も改善されることが期待される。

ポーランド企業の研究開発投資が増加【4日】

国立研究開発センター(NCBIr)によると、2012年のポーランド企業による研究開発投資は年間約30%増加したという。NCBIrによれば、研究開発分野におけるポーランドの状況は劇的に改善しており、これは欧州委員会からの支援に加えポーランド企業は安価な人件費だけが競争力ではないとの考えが浸透してきたことによるという。また、NCBIrは、EUの統計において、民間資本の研究開発向け投資が低い水準にあることについて、将来はよりリスクの大きい研究開発にも投資が増えるような環境を整備したいとしている。

エネルギー・環境

発電所における技術的な欠陥が顕在化【4日】

最近、ポーランド国内の発電所において技術的な欠陥が露見している。7月31日にはコジェニツェ等でそうした欠陥により、2250MWの発電容量の損失となった。専門家によれば、こうした技術的な欠陥は経年劣化によるもので、ポーランド国内では40%もの発電所が導入から40年以上経過していることを指摘している。

PGEが原子力発電所建設候補地のパブリック・アクセスを獲得できる見込み【5日】

ポーランドの原子力発電所の建設サイトの候補地として、現在沿岸部の3カ所が検討されている。建設プロジェクトを担当するPGE EJ1社は、他国の原子力発電所立地地域の例を踏まえ、原子力発電所の建設がこれら地域の観光客を減らすことにはならず、かえって観光客を引き寄せることになると見ている。同社の広報担当者によると、候補地の原子力発電所建設への支持は50%以上と高く、その一つである Gniewino では80%が支持している。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間について

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp,

住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本のフレーム写真コンテスト【5月10日(土)～8月31日(日)】

ラッキーマンデー社主催による『日本のフレーム写真コンテスト』が開催中です。また、9月26日からクラクフ市にて日本美術技術博物館 Manggha との共催による『日本の最新技術における専門家フォーラム』が予定されています。

詳細：www.japonskiekadry.pl

【開催中】文化ポスター展【6月5日(木)～8月31日(日)】

ワルシャワにて、ワジェンキ宮殿博物館主催で、日本と中国のグラフィックデザイナーによる作品展『文化ポスター展』がオープンエアギャラリーで開催されています。日本からは U.G.サトー氏の作品が展示されています。

開催場所：ワルシャワ、ワジェンキ宮殿博物館, ul. Agrykoli 1

詳細：<http://www.lazienki-krolewskie.pl/en,Cultural-Poster---Jianping-He-and-U.G.-Sato.html>,
<https://www.facebook.com/events/766453450061359/>

【予定】第14回日本文化フェスティバル【7月27日(日)～8月3日(日)】

ウストシキ・ドルネ市、プシェミシル市、クラシチン市、ヤロスワフ市にて、プシェミシル日本文化センター及びポーランド日本基金「大和」主催による『第14回日本文化フェスティバル』が開催されます。日本の伝統的な音楽や踊り、盆栽、俳句、茶道、墨絵等が予定されています。

開催場所：ウストシキ・ドルネ市（7月27日）、プシェミシル市（8月2日）、クラシチン市（8月3日）、ヤロスワフ市（8月3日）

詳細：<http://www.yamato.edu.pl/>

【予定】ポーランド相撲選手権大会及びポーランド相撲連盟 10周年記念イベント【8月9日(土)～8月10日(日)】

クロトシェン市にて、ポーランド相撲連盟主催によるポーランド相撲選手権大会が開催されます。特別ゲストとして元大関相撲都関も参加します。また、ポーランド相撲連盟 10周年を記念し、ポーランド民主化 25周年記念展示や日本をテーマにした子供の絵画コンクール、日本舞踊、着物、生花、折り紙、どうぶつ将棋のワークショップ等様々なイベントが予定されています。

開催場所：クロトシェン市 Pałac Gateckich 広場

詳細：ポーランド相撲連盟 ul.Mafy Rynek 13, Krotoszyn 63-700

電話：62 725 74 39

【予定】水曜映画上映会「菊次郎の夏」【8月27日(水)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、水曜映画上映会「菊次郎の夏」が開催されます。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00 , E メール：info-cul@emb-japan.pl,

住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】「国境地帯の遺産」セミナー【8月28日(木)～9月6日(土)】

クラクフにて、国際文化センター主催による『「国境地帯の遺産」セミナー』が開催されます。EUIJ 東京コンソーシアムの研究者による V4 諸国の国家遺産に関する講座が予定されています。

開催場所：クラクフ、国際文化センター, ul. Rynek Główny 25

詳細：<http://www.mck.krakow.pl/page/wspolpraca-z-japonia>

【予定】日本一美しい庭園写真展【9月3日(水)～9月30日(土)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミーの植物園主催による『日本一美しい庭園写真展』が開催されます。スタニスワフ・ロシコフスキ氏撮影による日本庭園の写真が展示されます。

開催場所：ワルシャワ、ポフシン, ul. Prawdziwka 2

詳細：http://www.ogrod-powsin.pl/index_a.html

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

（ご連絡は電子メールでお願いします。）